

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹

●編集委員／跡見 裕、畠山勝義、炭山嘉伸、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

臨床実習で外科をローテートしてくる学生と質疑応答など行う際にしばしば感じることであるが、ドイツ語による臓器名は Magen をはじめとするごく一般的であるもの以外は、これらを知る者はほとんどいないということである。もちろん筆者もドイツ語に長けている筈もなく高邁なことを述べる資格もないが、何か物足りなさを感じることも事実である。医学教育のなかでは当然、医学知識、倫理観、コミュニケーション・スキル、さらには医療技術といった医師となるにあたって必要欠くべからざる分野の充実がはかられ、それぞれの内容の質とともに学ぶべき量も増大していることは確かである。今後もさらに医学教育の現場では社会的ニーズにも対応すべく、その充実を求めなければならない。また、これらの評価の多くはそれぞれ何らかのかたちで数値化がなされているが、その結果として医学にとどまらず多くの分野で数値目標の達成にのみ全力を傾注する傾向が顕著となってきたように思われてならない。

前述したドイツ語に限らず、文学や哲学をはじめとした医療の実務には必ずしも直接かかわらないような分野における、いわゆる数値化で評価されない uncountable な一般的教養が今こそ問われているようにも思われる。単なる実務的、実用主義的側面にのみ片寄ることなくこのような教養も重要視することがひいては医師の責任感、社会性、存在感、そして誇りにつながっていくのではないだろうか。医療人としての知識、技術そして倫理観に加え、人間としての幅と教養がよりよき医師の育成の両輪と考える。私自身もいまだ未熟ではあるが、さらに精進していきたい。

外科医においては知識と技術、そして人間性を磨いて多くの症例を経験するとともに、臨床的および基礎的学問を志向することは昨今の現況を考えるとさらにその重要性を増しているのではないかと強く感じる。いわゆる「リサーチ（研究）マインド」を有する医師のレゾナードル（存在価値）をあえて強調したい、このような観点からも「臨床外科」をはじめとした医学雑誌の存在意義の1つもそこにある。ささやかな1症例を大切に文章にまとめることも、大規模な臨床研究の成果を世に出すことも、ともに大切な学問である。稀有な症例の報告はもとより、本号における「多発肝転移の発生機序」（山本論文）をはじめとしたそれぞれの特集論文にみられるような「科学的」であり、かつ「夢のある」論文を期待したい。

（桑野博行）

臨床外科（第62巻第9号）

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2007年9月20日発行（毎月1回20日発行）

定価 2,625 円（本体 2,500 円＋税 5%）
2007年 年ぎめ予約購読料 38,960 円（税込）
（送料弊社負担・増刊号を含む 13 冊）

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail : ringe@igaku-shoin.co.jp
担当 田村・鶴淵・中田
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ JICLS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌を複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(03-3817-5670)の許諾を得てください。
- ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- ・ 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。